

公表

## 児童発達支援事業 事業所における自己評価結果

事業所名		地域児童福祉事業所 ぼけっと		公表日 R8年2月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもたちがエリアの意味をわかって安心して過ごせるように環境を整えています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもたちの発信にすぐ応えられるような人員配置にしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		設備の構造上バリアフリーが難しいところはスタッフを配置するなど気を付けています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除消毒を行い、子どもたちにとって安全に過ごせるようにしています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室でじっくり遊べるエリア、落ち着けるエリアなど必要に応じて提供しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援計画に沿ってケース会議やミーティングを行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		結果をふまえ、よりよい事業展開ができるように次年度計画に盛り込んでいます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや面談で職員の意見を聞き、改善につなげています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		法人内で順次行うよう検討しています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		特性の理解、PECS、強度行動障害、虐待研修、スタッフのコミュニケーションの研修など定期的に受けています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所内・ホームページに掲載しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者との面談や評価キットでのアセスメントを行っています。相談や関係機関と連携を図り共有理解し支援計画を作成します	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングでケース会議を行っています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎日朝のミーティングで再度共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々子どもたちを知るためのアセスメントと思い支援にあたっています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインをふまえ、保護者の方と面談した上でスタッフで支援内容を確認しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別のプログラムに沿ってチームでプログラムをたてています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別の目標に合わせたプログラムを設定しています。また、あえて変更を入れて固定化しないようにしています。気候の良い時は外での活動も取り入れています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		1人1人の目標に沿った計画を立案しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		個別のスケジュール、課題の設定を共通理解するため、朝ミーティングを行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録を書きながら、支援内容の共有、振り返り、次回の目標等確認しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を書きながら、支援内容の共有、振り返り、次回の目標等確認しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		随時保護者の方とコミュニケーションを図り、定期的に面談も行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や良く関わるスタッフが参加するようにしています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		通所分科会、保育所等訪問支援などで連携する機会が増えています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行通園や移行支援を行っています。また、保育所等訪問支援の際や送迎時に情報共有、相互理解を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の方の確認のうえ、移行先に引継ぎ資料を提供し、情報共有、相互理解を図っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		何かあればすぐ連絡し助言をいただいています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもも活動する機会があるか。	○		積極的にしては無いが、地域資源を活用したり、地域のイベントに参加し子どもたちが自然と地域の人と交流できればと考えている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		親子通園、送迎時に困りごとやできたことなどでその場で伝えあえるようにしています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		同法人内で保護者向けの学習会を行っています		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった時に書面をお渡ししながら説明するようにしています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		随時保護者の方とコミュニケーションを図り、定期的に面談も行っています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者の方のみに確認していただき、サインをいただくようにしています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談の機会を設けておりますが、希望があれば随時面談させていただきます	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		午前中は親子通園がメインです。その中で保護者の方向士の交流の場になればと考えています。また、同法人内できょうだい児イベントや保護者向け学習会を企画しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		夜間・休日もぼけつと携帯をスタッフが持っており、いつでも連絡が取れる体制を作っています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ぼけつと通信、ホームページにて発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に細かく確認していただき、取り扱いに注意しています。ひび、スタッフ間で、言動を振り返るようにしています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人のわかる伝達方法を使っています（PECS、具体物、イラスト、写真、コミック会話など）	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		自治会活動に参加しています。また、避難訓練やAED講習にもご近所の方にもご案内しています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内での共有に努めています。保護者への周知として玄関にマニュアルを設置し、いつでも見てもらえるようにしています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		火災・消火・風水害・地震・感染の訓練を定期的に行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、保護者の方に個人シートに記入していただいています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に把握し、対応しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理委員会を設置しており、毎月スタッフで確認し支援にあたっています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	保護者の方への周知はできていません	送迎時の置き去り防止の設置や公園に行く前のルート確認等していることをぼけつと通信等でお知らせします
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		スタッフ全員で共有し、再発防止に取り組んでいます	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会にて毎月ミーティングを行っています。また、スタッフのメンタルチェックを毎月実施しています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		面談の上、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかを個別支援計画に記載し、保護者に了承を得ています		